

2015年11月2日

株式会社エスアールエル  
代表取締役社長 小川 眞史

## 米国CLIA登録証（Certificate of Registration）取得について

株式会社エスアールエル（代表取締役社長：小川眞史、本社：東京都新宿区、以下「エスアールエル」）は、このたび米国CMS（Centers for Medicare & Medicaid Services）により、CLIA（Clinical Laboratory Improvement Amendments of 1988）ラボとして登録されましたのでお知らせいたします。

CLIAは米国の臨床検査ラボの品質保証基準であり、米国においてはヒト検体を使用する全ての臨床検査ラボがCLIAに適合し、登録・認証されることが求められています。CLIAは米国保健福祉省の公的保険制度運営センターであるCMSが管轄しており、FDA<sup>i</sup>やCDC<sup>ii</sup>もCLIAプログラム運営の一部を担っています。

エスアールエルはすでに臨床検査ラボの国際規格「ISO15189」や権威ある精度保証認定機関である米国臨床病理医協会（CAP：College of American Pathologists）の施設審査基準認定を取得しています。さらにCLIAラボとして登録されることによって、FDAが認める品質水準での試験実施及びデータ提供が可能となり、治験や国際多施設共同研究においてより付加価値の高いサービスをお客様に提供できるものと考えています。

遺伝子検査領域においては、新規検査項目の導入、創薬開発支援技術としてGWAS（Genome-Wide Association Study）への取り組み、次世代シーケンサーを用いた最先端の検査技術や項目の開発に加えて、今後は、より高度な遺伝子検査領域のサービスを中心にCLIA基準のサービスを提供してまいります。

### 【CLIAの登録について】

- ・ 対象ラボ : エスアールエルMUQSラボラトリー（東京都八王子市）
- ・ 登録年月日 : 2015年10月23日付
- ・ CLIA登録証番号 : 99D2103945
- ・ ラボディレクター : 真鍋俊明先生<sup>iii</sup>

### 【本件に関する問合せ】

お電話でのお問い合わせ : 大代表（総務部）TEL. 03-6279-0900

Web からのお問い合わせ : <http://www.srl-group.co.jp/sec/index.html>

<sup>i</sup> FDA : 米国保健福祉省(HHS)の一機関である米国食品医薬局 (The Food and Drug Administration)

<sup>ii</sup> CDC : 米国保健福祉省(HHS)の一機関である米国疾病対策センター(The Center for Disease Control and Prevention)

<sup>iii</sup> 医学博士、American Board of Pathology (AP and CP)、日本病理学会認定医

略歴：1971年山口大学医学部卒業後、米国ハワイ州、ニューヨーク州の医科大学にて研修医、助教授を経て、川崎医科大学講師、助教授、教授歴任。2002年より京都大学大学院医学研究科教授を勤め、現名誉教授、2010年より滋賀県立成人病センター病理診断科科长、同研究所所長を務め、現成人病センター総長 兼 病理診断科科长。